

第六十四回
帝國議會
貴族院

製絲業法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

付託議案(追加)

農業動產信用法案

漁業法中改正法律案

昭和八年三月十八日(土曜日)午前十時十八分開會

○委員長(子爵松平直平君) 是ヨリ開會ヲ

致シマス、便宜上農業動產信用法案及漁業法中改正法律案ノ兩案ノ理由ヲ當局ヨリ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(伯爵有馬頼寧君) 農業動產信

用法案提出ノ理由ヲ説明イタシマス、農山漁村ニ於ケル金融ノ現狀ニ鑑ミ、農漁業者ノ擔保力ノ増加ヲ圖リ、其生産資金供給ノ圓滑ヲ期スル爲メ、新タニ先取特權及農業用動產ノ抵當權ニ關スル制度ヲ創設シ、以テ信用組合等ニ依ル農漁業金融ノ圓滑ヲ圖ルニ資スルコトトシ、茲ニ農業動產信用法案ヲ提出イタシマシタ、本法案ノ要旨ハ、第一ニ農業用動產若クハ農業生産物ノ保存、農業用動產ノ購入、種苗、肥料、蠶種若クハ桑葉ノ購入、薪炭、原木ノ購入又ハ一定ノ水產養殖用種苗若クハ餌料ノ購入ヲ爲スニ必要ナル資金ノ貸付ヲ爲シタル場合

ニ於テ、特定動產ノ上ニ先取特權ヲ認ムルコトト致シ、第二ニ農業者、漁業者農事實行組合又ハ養蠶實行組合等ノ債務ヲ擔保スル爲メ、農業及漁業等ノ經營ニ用フル主要ナル動產ノ上ニ抵當權ヲ設定シ得ルコトト致シ、第三ニ以上ノ先取特權又ハ農業用動產抵當權ヲ取得シ得ル者ハ信用組合其他特定ノ法人ト致シマシタコト等デアリマス、何卒御審議ノ上御可決アランコトヲ希望イタシマス、次ニ漁業法中改正法律案提出ノ理由ヲ説明イタシマス、漁業法ニ於テ認メテ居リマスル漁業組合ハ、漁村ニ於ケル漁業者ノ組織スル重要ナル團體デアリマス、然ルニ現行法規ノ下ニ於キマシテハ、隣保互助ノ精神ニ基ク漁村ニ於ケル經濟機關トシテノ機能ヲ十分發揮スル上ニ、尙ホ遺憾トスル所ガ少クナイノデアリマス、故ニ之ヲ改正シテ眞ニ漁村ノ中樞機關トシテ、活動スルニ便ナラシムルコトハ漁村ノ現情ニ鑑ミ甚ダ要ナルノミナラズ、漁村經濟更生ノ方策ト致シマシテモ、誠ニ緊要ノコトデアリマス、依テ之ニ關スル規定ノ改正ヲ致シマスルト共ニ、其他時勢ノ變遷及漁業進步

ニ伴ヒマシテ必要ナル事項ニ關スル改正ヲ爲サントシ、茲ニ漁業法中改正法律案ヲ提出シタル次第デアリマス、今回ノ改正事項中其主要ナル點ヲ述ベマスレバ、第一ニ漁業組合ハ從來漁業權又ハ入漁權ノ主體トナリ、又組合員ノ漁業ニ關スル各種ノ共同施設ヲ爲スコトヲ目的トシテ居ッタノデアリマスガ、新タニ其目的トシテ組合員ノ經濟ノ發達ニ必要ナル共同ノ施設ヲ爲スコトヲ加ヘタノデアリマス、第二ニ特定ノ經濟行為ヲ行フ漁業組合ハ組合員ヨリ出資ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノトシ、之ヲ漁業協同組合トシ、其組織ハ無限責任、有限責任、及保證責任ノ三種ト致シマシタ、又出資ノ制度ヲ採ラズシテ漁業協同組合ト同種ノ事業ヲ行フ漁業組合ノ組織ハ無限責任及保證責任ノ二種ト致シマシタ、第三ニ漁村ノ事情ニ依リ漁業從業者其他漁業者ニ非ザルモノヲ漁業協同組合ニ加入セシムルコトヲ適當トスル場合モアリマスルノデ、漁業協同組合ハ、組合規約ノ定ムル所ニ依リマシテ漁業者ニ非ザルモノヲ組合員ト爲スコトヲ得ルコトト致シマシタ、又漁業ノ種類、漁

村ノ狀況ニ依リ漁業協同組合自ラ漁業ヲ營ムコトヲ適當トスル場合モアリマスルノデ、命令ノ定ムル範圍内ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ得テ自ラ漁業ヲ營ムコトヲ得ルコトト致シマシタ、第四ニ漁業組合聯合會ハ所屬ノ漁業組合及漁業組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲メ設立シ得ルコトト致シマシテ、其組織ハ有限責任及ビ保證責任ノ二種ト致シマシタ、第五ニ本改正法律施行前ヨリ引續キ特定ノ經濟行為ヲ行フ漁業組合ハ改正法律施行後五年ヲ限リ前述セル責任組織ノ組合ト爲サザルコトヲ得ルコトト致シマシタ、又本改正法律施行前ニ設立シタル漁業組合聯合會ハ改正法律施行後五年ヲ限リ尙ホ從前ノ規定ニ依ルコトヲ得ルコトト致シマシタ、前記ノ期間内ニ本改正法律ニ依ル聯合會ト爲サザルモノハ其期間滿了ノ日ニ於テ解散スルモノト致シマシタ、第六ニ漁業權又ハ入漁權ノ各共有者ガ其持分ヲ處分スル爲ニハ、他ノ共有者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ足ルコトト致シマシタ、又共有ニ屬スル漁業權又ハ入漁權ヲ變更セントスル場合ニ於テ他ノ共有者ノ

所在不明ニシテ其同意ヲ得ルコト能ハザル
トキ及ビ漁業權ノ分割其他ノ變更ヲ爲サン
トスル場合ニ於テ登錄シタ入漁業權者ノ所
在不明ナル爲メ其同意ヲ得ルコト能ハザル
トキハ裁判所ノ許可ヲ以テ其同意ニ代フル
コトヲ得ルコトニ致シマシタ、第七ニ農林
大臣又ハ地方長官ガ水産動植物ノ蕃殖保護
又ハ漁業取締ノ爲メ命令ヲ以テ規定シ得ル
事項中ニ、水産動植物ニ有害ナル物ノ漏泄
竝ニ水産動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁
止ノ事項ヲ加ヘ、尙ホ母船式漁業又ハ機船
底曳網漁業ヲ營マントスル者ハ主務大臣ノ
許可ヲ要スル旨ヲ漁業法中ニ規定スルコト
ト致シマシタ、以上ガ今回改正ノ要旨デア
リマス、何卒御審議ノ上御可決アラムコト
ヲ望ミマス

○委員長(伯爵松平直平君) 先ヅ農業動産
信用法案ヲ問題ニ供シマス、御質問ガゴザ
イマスレバドウゾ……

○橋本圭三郎君 私ハ世間ノ人ノ言フコト
ヲ代表シテ農林當局ニ一言御尋ネシテ見タ
イト思ヒマス、近頃ハ何デモ、敢テ農林省
關係ノ仕事バカリデナイノデアリマスガ、
非常ニ關係ガ深く、而シテ色々似テ居ルヤ
ウナモノガ個々別々ニ會ヲ拵ヘル、或ハ國
防協會デアルトカ、海軍協會デアルトカ、

飛行協會デアルトカ、色々關係ノ深イモノ
ガ皆別々ニ何カ拵ヘル、ソレカラ又醫者ナド
ノ方ノコトヲ考ヘテ見デモ、餘リ部門ガ獨立
シテシマツテ、耳鼻咽喉ノ人ニハ才腹ノ痛イ
人ガ見テ呉レト言フテモ分ラナイト言フタヤ
ウナ按配ニ、何カラ非常ニ分ケテヤルコト
ガ流行ッテ來タ、ソレデ此農林事務關係ナド
ニ付デモ、或ハ農會、或ハ蠶絲會、或ハ家
禽何會ト言ヒマスカ、或ハ山林會トカ云フ
ヤウナ按配ニ、非常ニ何カガ分レテ來テ、
其人ヲ集メテ見レバ、兩方二ツニモ三ツニ
モ跨ッテ居ル人ガ澤山アル、ソレデアルカラ
先ダツモノハ金デアルガ、資金ナドモウマ
ク集ラナイ、ソレカラ又人モサウ云フ風ニ
分レテ居ルカラ、人ガ集ラナイ、斯ウ云フ
狀態ニマア日本ノ全體ノ傾キガナツテ來ル、
ソレデ此農林省ノ御關係ノ農會トカ、或ハ
蠶絲會トカ山林會トカ家禽何會トカアア云
フモノヲ一ツノ、丁度農林省ガサウ云フモ
ノヲ統轄セラレル一番上ニアルヤウニ、一
番大キナ例ヘバ農會ト言ヘバ皆入ルカモ知
レヌガ、サウ云フヤウナモノニシテ、サウ
シテ其中ニ部門ヲ拵ヘテ、之ヲウマク「マ
ネージ」シテ行クト云フコトガ宜イノヂヤ
ナイデセウカ、是ハ少シ例ガ違ヒマスケレ
ドモ、亞米利加ノ商業會議所ノ實際ノ話ヲ

私ガ聞イテ見ルト、商業會議所ノ議員ト云
フモノノ中ニ或ハ綿絲部トカ、或ハ石炭部
トカ石油部トカ何部トカ云フモノガ皆分レ
テ居テ、其部門々々ノ人ガ單獨ニ話ヲスル
コトハシ、ソレカラ關係ノアルモノハ直グ
此部ト部トガ寄ッテ、サウシテ共同ノ會ヲ開
イテヤル、サウシテ物事ヲ敏捷ニ片付ケル
ト云フヤウナコトモ聞イテ居ルノデアリマ
ス、世間デモ近頃餘リ獨立シタ會ガ幾ツモ
出來ルト云フコトニ付テ、實ハ彼方カラモ
金ヲ取ラレ此方カラモ金ヲ取ラレ、随分ウ
ルサイト云フ點モアルカラデセウガ、一般
ニ識者ノ間ニハサウ云フ議論ガ段々強ク
ナツテ來テ居ルヤウデアリマスガ、農林當局
ニ於テハサウ云フ大キナ考ヲ持テオイデ
デゴザイマセヌカ、一ツ伺ッテ見タイト思ヒ
マス

○政府委員(伯爵有馬頼寧君) 只今ノ御質
問ニ對シテ私ノ申上ゲルコトガ或ハ當ラナ
イカモ知レマセヌガ、一應御答ヘ申上ゲテ
見タイト思ヒマス、只今ノ御説ハ有ラユル
方面ニサウシタ問題ハ論ゼラレテ居ルヤウ
デアリマス、農林省關係ニ於キマシテモ、
水産トカ、山林トカ、農産トガ、非常ニ種
類ガ澤山ニ分レテ居リマス、ソレガ統一サ
レテ行クト云フコトハ誠ニ結構ナコトデア

ルノデアリマスガ、中々サウシタ團體ヲ統一ス
ルト云フコトハ俄ニ行ハレ難イノデアリマス、唯
農林省ノ内部ニ於キマシテハ、成ルベク全
般ニ關係ノアリマスヤウナコトハ一ツノ局
ノ中ニ置クト云フコトデナクシテ、全體ニ
斯ウ通ジテ居リマスヤウナモノハ、之ヲ引
離シテ行クト云フ方針ニ、最近サウ云フ傾
向ニナツテ居リマス、具體的ニ申シマスト、例
ヘバ産業組合ト云フヤウナモノガ從來アリ
マシタ、是ハ産業組合課ト云フモノガ農務
局ノ中ニアッタノデアリマス、サウ致シマ
スト、例ヘバ水産關係デアルトカ、或ハ山
林關係デアルトカ、其他ノ方面ニ於キマシ
テ、ドウモ産業組合ト云フモノガ農務ノ仕
事デアルト云フヤウナ感じヲ以テ迎ヘラレ
テ、農業以外ノ方面ニハ餘リ發展セヌト
言ッタ風ナ傾向モアッタノデアリマス、サウ
云フコトハ甚ダ宜クナイコトデアルト云フ
ヤウナ考カラ、産業組合課ト云フモノハ現
在デハ所謂經濟更正部ト云フ中ニ入ッテ居
ル、經濟更正部ハ御承知ノ通り所謂農村ノ
經濟更正ヲ圖ルノデアリマスカラ、農業ト
カ漁業トカ水産トカ山林トカ、サウシタヤ
ウナ片寄ッタコトデナシニ農村ニ關係アル
總テノ事業ニ互ッテ居ルノデアリマス、ソ
レデ經濟更生部ノ中ニ産業組合課デアルト

ルノデアリマスガ、中々サウシタ團體ヲ統一ス
ルト云フコトハ俄ニ行ハレ難イノデアリマス、唯
農林省ノ内部ニ於キマシテハ、成ルベク全
般ニ關係ノアリマスヤウナコトハ一ツノ局
ノ中ニ置クト云フコトデナクシテ、全體ニ
斯ウ通ジテ居リマスヤウナモノハ、之ヲ引
離シテ行クト云フ方針ニ、最近サウ云フ傾
向ニナツテ居リマス、具體的ニ申シマスト、例
ヘバ産業組合ト云フヤウナモノガ從來アリ
マシタ、是ハ産業組合課ト云フモノガ農務
局ノ中ニアッタノデアリマス、サウ致シマ
スト、例ヘバ水産關係デアルトカ、或ハ山
林關係デアルトカ、其他ノ方面ニ於キマシ
テ、ドウモ産業組合ト云フモノガ農務ノ仕
事デアルト云フヤウナ感じヲ以テ迎ヘラレ
テ、農業以外ノ方面ニハ餘リ發展セヌト
言ッタ風ナ傾向モアッタノデアリマス、サウ
云フコトハ甚ダ宜クナイコトデアルト云フ
ヤウナ考カラ、産業組合課ト云フモノハ現
在デハ所謂經濟更正部ト云フ中ニ入ッテ居
ル、經濟更正部ハ御承知ノ通り所謂農村ノ
經濟更正ヲ圖ルノデアリマスカラ、農業ト
カ漁業トカ水産トカ山林トカ、サウシタヤ
ウナ片寄ッタコトデナシニ農村ニ關係アル
總テノ事業ニ互ッテ居ルノデアリマス、ソ
レデ經濟更生部ノ中ニ産業組合課デアルト

カ、或ハ金融ニ關スルモノモ此中ニ今置カ
テレ居ルノデアリマス、只今茲ニ提出イタ
シマシタ所謂不動産ノ信用法案ナンカモ其
關係デアリマスガ、所謂金融ト云フモノハ
農業、山林、水産、有ユル方面ニ關係アル
コトナシデアリマシテ、サウ云フモノハ矢
張り經濟更生部ト云フヤウナ、全般ニ互
タ全體ノ計畫ヲスルト言フヤウナ風ナ所
ニ置イテ、ドノ局トカ、コッチノ局トカ片寄
ラナイ方ガ非常ニ宜イト云フヤウナ考カラ

經濟更生部ハ金融ト產業組合ト副業ト言
タヤウナ、所謂各局ニ共通ノヤウナモノハ
經濟更生部ニ集テ居ルヤウナ形ニナッテ居
ルノデアリマス、是ハ一ツノ例デアリマス
ガ、矢張り地方ノ農村、山村、漁村、總テ
ノ問題ニ付キマシテ、矢張り此農林省デ經
濟更生部ニ斯ウ云フ各局ニ共通ノモノヲ集
メマシタヤウニ、成ルベク統一サレテ行ク
ト云フコトガ宜シイコトダト、只今ノ橋本
サンノ御説ハ誠ニサウデアルト私共モ考ヘ
テ居ルノデアリマス、唯團體ト云フヤウナ
モノガ、農會トカ、水産會トカ、山林會ト
カ、サウ云フヤウナモノガ、バラ／＼ニ澤
山アルト云フヤウナコトハ決シテ地方ノ人
達ニ利益ヲ與ヘテ居ナイ、又極端ニ言ヘバ
隨分迷惑モシテ居ルダラウト云フ風ナコト

ヲ考ヘラレルノデアリマスガ、併シ今迄ノ
實情ト致シマシテ、今俄ニ之ヲ併合スルト
カ何トカ云フコトハ出來ニクイノデアリマ
スガ、併シ御話ノヤウナ風ニ進ンデ行クト
云フコトガ必要ダト私共モ考ヘテ居ル次第
デアリマス

○橋本圭三郎君 今ノ問題ハソレ位ニシテ
置キマシテ、去年ノ何カ法律決マッタノ
ダサウデスケレドモ、私能ク存ジマセヌノ
デアリマスガ、農事實行組合、養蠶實行組
合ト云フ、斯ウ云フモノガ新タニ生レテ出
來タノデアリマスガ、其成立後ノ狀況ハド
シナ風ナ工合デアリマスカ、一ツ御話ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小林權一君) 御答ヘ致シマ

ス、養蠶實行組合ノ方ハ農事實行組合ヨリ
モ一年前ニ法律ガ制定サレマシタノデアリ
マス、農事實行組合ニ關シテハ六十三議
會ニ御協賛ヲ經マシテ成立シタ制度デアリ
マス、兩方トモ元々農村ノ部落ヲ單位ト致
シマシテ、昔ノ五人組ニ該當スルヤウナ組
織デ、總テ事ヲ隣保共助デヤッテ、御互ノ
責任ヲ取ッテ行クト云フ團體ガ段々自治的
ニ自然ニ發達シテ參リマシタノデアリマ
ス、ソレガ農村ノ一番下ノ基礎トナリ、隣
保共助ノ組織トナッテ參リマシテ、產業組合

ノ仕事ハ部落ニ行キマスレバ、其部落ノ實
行團體ガ實際ノ實行ノ任ニ當ル、又養蠶方
面ノコトニ關シマシテモ部落ノ實行團體ガ
總テノ仕事ヲ互ニ隣保共助デ助ケ合ッテヤ
ルト云フ傾向ガ非常ニ多クナリマシテ、其
團體ト云フモノハ本當ニ是ハ隣保共助ノ精
神デ出來テ居リマシテ、冠婚葬祭其他何デ
モ一切ヤルノデアリマス、之ヲ發達助長サ
セテ農村部落ニ於テ一ツノ實行團體デ總テ
ノモノヲ引受ケテヤルト云フコトガ非常ニ
實際ニ即シテ居ルノデハナカラウカト云フ
コトデ、ソレヲ簡單ナ法人ニナシ得ルト云
フコトニ致シタノデアリマス、要スルニ養
蠶實行組合ト農事實行組合トハ全ク同ジ
モノデアリマス、中ノ規定ハ全然兩方同ジ
法律ヲ用ヒテ居ルノデアリマス、養蠶實行
組合ト法律ガ一昨年制定サレタト記憶シテ
居リマスガ、其制定後既ニ二萬四千ノ養蠶
實行組合ガ出來マシタ、是ハ何モ新ラシク
出來タノデハアリマセヌ、從來アリマス養
蠶業者ノ實行團體、蠶兒ノ共同飼育、及一
緒ニ霜ノ害ヲ防グ等ノ共同事業ヲ行フノデ
アリマス、サウ云フ實行團體ガ既ニ二萬七
千バカリアリマシテ、サウシテ法律ガ制定
サレテ皆形ヲ法人ニ變ヘタノデゴザイマ
ス、ソレガ二萬四千以上ニ達シテ居ルト記

憶シテ居ルノデアリマス、農事實行組合ノ
方ハ六十三議會デ初メテ法律ガ通過シタノ
デアリマシテ今著々法人ニ直シツツアルノ
デアリマス、固ヨリ是ハ簡單ナ法律デアリ
マシテ、七人以上ノ者デ、規約ヲ作成スレ
バ直ニ法人ニナル、許可モ認可モ必要トシ
テハゴザイマセヌ、ソレデハ何故ソレヲ法
人ニスルコトニ致シタカト申シマスルト云
フト、是ガ總テノ機關ノ土臺ニナルモノデ
アリマスカラ、ソレヲ上ノ機關ニ連絡サセ
ルト云フニハ矢張りドウシテモ法人デナイ
トウマク連絡ガ付カナイノデアリマスカラ
シテ、ソレデ又一方ニ於テハ形式上ニ於テ
モ登録シテ置クコトガ、本當ニ隣保共助ノ
精神ヲ發揮シテ仕事ヲスル上ニモ誠ニ便利
デハナカラウカト云フヤウナ意味ニ於テ、
二ツノ方面ノ理由デ簡單ナ法人ニシテ置ク、
農事實行組合、養蠶實行組合モ皆產業組
合ニ加入シ得ルコトニ法律デサウ云フ權限
ヲ認メサセタノデアリマス、ソレデ部落ニ
於テハ皆一ツノ實行團體デ仕事ヲ致シマシ
テ、ソレガ產業組合ニ加入シテ農產物ノ販
賣、金融其他ノコトニ連絡ヲ取ルコトニ致
シマス、又一方ニ於テハ養蠶ノ方ノ統制團
體ノ養蠶組合、是ハ公益法人、斯ウ云フ風
ナ實行團體ガ出來テ居リマス、ソレト連絡

ガ取レルヤウニ法律ヲ立テマシタ、農事實行組合ノ方ハ目下頻ニ各地方デ産業組合ニ加入サセルトカ色ミナ手續ヲ取ッテ居ルノデアリマス、此方ノ數字ハ報告ハ取ッテ居リマセヌ、各地方デボツ／＼法人ニ變ヘツツアルヤウナ事情デゴザイマス

○橋本圭三郎君 今ノ御話ヲ承ハルト農事實行組合、養蠶實行組合ト云フモノガ全體ニ及ンデ非常ニウマク行クト云フコトデアッタナラバ、此二ツニ止メズ或ハ山林實行組合トカ、或ハ漁業實行組合トカ云フヤウナモノニ之ヲ擴張セラレルト云フ御考ヘハナイノデアリマセウカ、又サウ云フモノハマア此二ツノ工合ヲ見テ順次サウ云フヤウナ按配ニ進マウト云フヤウナ當局者ノ御考ヘデゴザイマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒマス

○政府委員(小平權一君) 御答ヘ致シマス、農事實行組合ハ非常ニ廣イ規定デアリマシテ、畜産ノ方モ皆農事實行組合ニナリ得ル、今マデ澤山ニ出來テ居リマス養蠶組合ト云フヤウナモノモ之ヲ實行組合トシテ法人ニナリ得ルノデアリマス、其他農村ノ色ミノ仕事ヲシテ居ル業者ハ皆實行組合ノ組合ニナレルノデ、事山林ニ關シマシテハ、農業者デアッテ山林ヲ營ンデ居ル者デアリマストカ、山附ノ村デ主トシテ山林ノコト

ヲヤッテ居ル山家デアッテモ、少シデモ農事ノコトニ關係ガアレバ矢張り農事實行組合ニナレルノデアリマシテ、大體ニ於テ山林、ソレカラ養蠶ノ方ハ總テ入ルノデアリマシテ、唯漁業ノ方ニナリマスルト、漁業組合ト云フモノハ、部落單位ノ漁業組合ガ殆ド原則ニナッテ居ルヤウニ考ヘルノデ、是ハ水産局長カラ御答ガアルカモ知レマセヌガ、ソレデ重ネテ作ル必要モナイ、漁業組合ト云フモノガ矢張り實行組合ニナルノデアリマスカラ、是ガ出來レバ、是ハ産業組合ノ方ニ金融關係デハ加入ヲスルヤウナコトニ致シマシテ連絡ヲ取ッテ統制シタイト考ヘテ居リマス

○高島順作君 我先程橋本サンノ御質疑ニ付テ痛切ニ感じタコトデアリマスガ、私ハ郡ノ農會長及各團體ノ組合長ヲ致シテ居リマシテ、サウシテ只今橋本サンノ御話ニナリマシタ各種色ミノモノガ分レタ會ガアルコトニ付キマシテ最モ常ニ困ッタ一人デアリマシテ、ソレハ第一農會ハ各地方トシテハ一番有力ナ團體デアッテ、此會費ハ法律ニ依ルコトモ出來、之ヲ徵收スルノニ極メテ樂デアリマスガ、其他ノ養蠶組合ノ如キ今日ハ只今御話ニナリマシタ實行組合ニナリマシタガ、其會費ナルモノハ皆各町村デハ農會ノ費用ノ

中カラ農會ガ補助シテ作ッテ居ルノガ多いノデアリマス、即チ實際力カラ言ヘバ農會ト同ジモノガヤッテ居ルノデ、唯ソレガ分レテ居ルト云フダケデ、ソレカラ産馬組合、産牛組合ノ如キハ、是等ハ一ツニシテ何等差支ナイガ、法律ニ於テ是ガ分割サレテ居テ常ニ組合ガ二ツアル、馬ノ盛ナ所、牛ノ盛ナ所、ソレカラ山林ノ如キハドウカ知レマセヌガ、私ノ縣内ノ如キハ極メテ僅カノモノヲ分ケテ居リマス、サウシテ團體ガ二ツ出來テ居ル、サウ云フモノガ、ドウシテ

モ之ヲ一ツニ纏メルコトガ出來ナイカト云フヤウナコトヲ常ニ主張シタモノデアリマスガ、法律上サウ云フコトガ出來ナイノデ、只今申ス養蠶ノ如キモ全ク是ハ農會ノ副産デアッテ、全然農會ノ中ニアッテ差支ナイト私ハ思フ、ソレガ別ニ組合ガ出來テサウシテ會費ヲ徵收シナケレバナラヌ、其會費ナルモノノ徵收ニ非常ナ手續ガ掛ッテ集ラナイ、結局會費ガ取レナイ爲ニ會ヲ廢止シナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ常ニヤッテ居ッタモノデアリマシテ、非常ニ困ル經驗ガアルノデアリマスガ、今日色ミ統制或ハ統一ト云フヤウナコトヲ盛ニヤラレル時代ニ於テ、斯ウ云フコトハ事務的デナク政治的ニ合同スルヤウナ方針ニ進ンデ戴キ

タイト思フノデアリマスガ、サウ云フ御考ハナイノデゴザイマセウカ、政務次官ニ伺ヒタイ

○政府委員(伯爵有馬頼寧君) 先程橋本サンノ御意見モアリマシタシ、只今高島サンノ御意見モアッテ、私共非常ニソレハ御同感ニ思フノデアリマスガ、私古イコトハ餘リ存ジマセヌガ、是ハ最初所謂農林當局ノ方カラ獎勵シテ作ラシタト云フモノデハナクテ、自由ニ民間ニサウ云フ團體ガ方々ニ出來テ參リマシテ、ソレヲ所謂保護シ指導シ助長スルト云フ意味カラ、後ニ法律ガ出來テ行ッタモノダト思フノデアリマス、從テ之ヲ只今ノ所謂當局ノ方トシテ、之ヲ合同サセルトカ、統一スルトカト云フヤウナコトヲ、積極的ニヤリマスコトハ非常ニ困難ダト思ヒマス、併シ御説ノ如ク事柄トシテハサウ云フ風ニ進ムベキモノデアルト云フ風ニハ考ヘルノデアリマス、從テ民間ノ側ニ於キマシテ、只今高島サンノ仰シヤルヤウニ、實際ニブツツカル人ガ隨分迷惑シテ居ル人ガ多いト思ヒマスカラ、其方面デ實際ニ農會ナリ斯ウシタ團體ニ關係ノアル方ミガ色ミ迷惑シ困難ヲ感じテ居ラシヤル其御經驗カラ、サウシタ運動ヲ御起シタルト云フヤウナコトガ假ニ出來マスルナ

ラバ、所謂農林當局トシテモ之ヲ助長スル、サウ云フ風ナ傾向ニ之ヲ導イテ行クト云フコトニハ、無論努力スルト思フノデアリマスルガ、唯民間ニ自然ニ斯ウ云フ風ニ色ミナ種類ノモノガ發達シテ來タト云フ過去ノ狀態カラ考ヘマスルト、ナカ／＼容易ニソレガ合同トカ統一トカト云フヤウナコトハ、簡單ニ行ハレサウニハ思ハレナイノデアリマス、併シ趣意トシテハ誠ニ御同感デアリマシテ、サウ云フ風ニ向フベキモノダト云フ風ニハ私モ考ヘマスケレドモ、實際問題トシテハ可ナリ困難デハナイカト思ヒマス

○高島順作君

只今政務次官ノ御説明能ク分リマシタ、私共ハ實ハ產牛產馬組合ノ合同、ソレカラ養蠶組合、農會ノ合同ト云フコトヲ主張シ、縣ヘ大分運動ヲ致シタ一人デアリマス、所ガ法規上ハ許可相成ラヌト云フ次第デ、ツイ中止イタシテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、ドウゾ機運ニナッタラ合同セシムルヤウニ、御指導アラムコトヲ切ニ御願ヒスル次第デアリマス

○橋本圭三郎君

チヨット政府委員ニ伺ヒマスガ、此農業動産信用法ト云フ今度ノ今ノ議題ニナッテ居ルモノハナカ／＼法律、民法商法モ入ッテ居ルヤウデアリマスシ、行政

法ノ方モ入ッテ居ルヤウデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ似タ法律ガ今迄幾ツモアルデセウガ、何ニ一番似テ居リマスカネ、斯ウ云フモノハ……

○政府委員(小平權一君)

農業動産信用法ハ要項デ御示シテアリマス通り二ツニ分レテ居リマシテ、特別ノ先取特權、ソレカラシテ動産ノ抵當ト二ツニ分レテ居リマス、其先取特權ノ方ハ現在民法ニ同様ノ規定ガアルノデアリマス、ソレデ民法ノ方デ申シマス、農業動産ヲ現物デ供給シテ掛賣ニナッテ場合ニハ、供給シタ商人ノ方ガ先取特權ヲ持ッテ居ル、ソレヲ信用組合カラ金ヲ借りテ現金拂ヲシタ場合ニハ、信用組合ガ同様ニ先取特權ヲ得ルト云フ考ヘ方デアリマス、サウ云フ風ニ民法ノ方デハ、動産ノ供給、動産ノ保存、ソレカラ種苗肥料ノ購入、蠶種又ハ桑葉ノ購入等ニ付テ現物デ供給シテ、代金ヲ拂ハナイ場合ニハ先取特權ガアル、ソレヲ信用組合ノ方デ組合員ノ爲ニ代テ現金デ拂ッテシマフト云フコトニスレバ、現物ヲ供給シタ機械ノ製造業者トカ、肥料商トカ、苗木商ト云フ方面ニハ關係ガ無クナッテシマッテ、信用組合ノ方デ先取特權ガ今マデナカッタ、ソレヲ今度信用組合ノ方デ先取特權ヲ取ルノデアリマス、斯クテ

無擔保デ農山漁村民ニ貸付ヲシヤウト云フ考ヘ方デアリマス、ソレカラシテ動産ノ抵當ノ方ハ大體牛、馬、漁船、ソレカラシテ大キナ農業機械、ソレダケヲ勅令ニ指定シテ、サウシテ農家、山家、漁家ガ、自分デソレヲ使用シツツ抵當ニ入ルヤウニ致シタイト云フ考ヘ方デアリマシテ、ソレデ從來ハ大體斯ウ云フモノハ賣渡抵當ノ方法デ詰リ擔保ニ入レテ居リマシタ、ソレガ非常ニ弊害ガ多イト云フノデ、大審院ノ判決デモ此賣渡抵當ハ無効デアルト云フ判決ヲ致シテ居リマス、所ガ最近ハ非常ニ實例ガ多イトデアルカラ、大審院デモ負ケテ有効デアルト云フ判決ヲ主張シテ居リマスガ、實際ノ取引ハ家畜ヲ抵當ニスル場合デ、一旦家畜ト云フモノヲ金ヲ貸ス人ニ、金貸業者ニ所有權ヲ移シテシマッテ、サウシテ其家畜ハ相變ラズ債務者ニ使用サセテ居ッテ、サウシテ所有權ハ金貸業者ニアル、ソレデ債務者ハソレヲ自分ガ使役シテ居ルト云フノデ、ソレガ登録モ出來マセヌシ、唯書面デ約束シテ居ルダケデアリマスカラシテ、ソレデ裁判ニナリマシタ時ニ非常ニソコガ不合理ニナリマスノデ、一體サウ云フ賣渡抵當デ以テ抵當權ニ入ッテ居ルノカドウカ、何處ニソレハ登録シテアルノカ、裁判所ニ出

マス、薩張り分ラナイ、デスカラ今度ハサウ云フコトガマア負ケテ、大審院デ有效ニシテ居ルヤウナ事情デアリマスカラ、寧ロ賣渡抵當ノヤウナ不完全ナモノデナクシテ登録シテ、抵當權ニ牛、馬、漁船等ガ入リマスカラ、ソレガ而モ信用組合漁業組合等、法人金融機關ニ限ッテ居リマスレバ、弊害ガナイノデアリマスカラト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、尙ホ日本ノ例ト致シマシテハ動産ニ抵當權ガ附ケラレテ居ル例ハ、例ヘバ立木ニ關スル法律デモ、立木ガ植エテアル時ニ抵當權ヲ設定シテ、一旦設定スレバ木ガ伐ラレテ何處ニ流レテ行ッテモ抵當權ガクッ附イテ居リマスカラ、サウ云フコトデ從來運用シテ居リマスカ、サウ云フ例モアリマスカラ、此際相當ノ登録ガ出來ルモノ、牛馬……牛馬等ハ既ニ家畜保險デ相當登録ノ形ガ現ハレテ居リマスカラ、家畜保險ニ記載スル事項ト同事項ヲ登記所ニ登記ヲスレバ、大體牛馬ノ區別ガ出來ル、ソコノ區別ガ出來ルト云フコトデ、十分研究ノ上カラ、差支ナカラウト考ヘタノデアリマス、ソレデ漁船ノ場合ハ二十噸未満ハ現在抵當權ノ設定ガ出來ナイノデアリマス、所ガ漁船ノ場合モ色ミナ監督上ノ制度ガアリマスカラ、免許ノ場

合ニ色ミナ特徴ヲ書イテ免致シマスシ、

ソレカラ製作番號トカ、機械ノ番號トカ、色ミナモノヲ綜合シテ登記シマス、ソレデ十分ニ判別ガ出來ル、又大キナ農業機械ニナリマス、機械ノ特徴ヲ書キマスカラ、ソレデ抵當權ノ登記ガ出來ルコトニ考ヘラレマシタノデ、サウ云フ特徴ガ十分明カデアアルモノ、而モ相手方ヲ信用組合、漁業組合等相互の機關デ組合員ダケニサウ云フ抵當權ヲ設定シテ資金ヲ借スヤウニスレバ、ソレデ相當運用出來ルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、ソレデ尙ホ強テ例ヲ求ムレバ工場抵當ハ是ハ纏テノ一ツノ固リデアリマスケレドモ、工場抵當デ抵當權ヲ設定スレバ、其工場内ニアル色ミノ細イ動産モ皆之ヲ抵當權ガ設定出來マス、ソレガ賣ラレタ場合ニハ矢張り動産抵當ハク付イタモノトシテノ處分ニナルノデアリマス、サウ云フ例モアッテサウ弊害モナク行ハレテ居リマスカラ、此大キナ農業動産、漁船等ニハ抵當權ヲ設定出來ルヤウニシテ、サウシテ信用組合、漁業組合等カラ之ヲ擔保ニ資金ヲ供給スレバ、零細ナモノニ資金ガ供給出來テ、農業金融、漁業金融ノ改善ガ出來ルノデハナカラウカト考ヘタ次第デアリマス

○橋本圭三郎君 今ノ御説デ、始メテ分

ノデスガ、此レヲ附ケルト云フカ、記シヲ附ケルコトノ出來ヌモノダ困ルト云フヤウナ御話ガアッタノデ始メテ此第二條ノ勅令事項ニ規定セラレルト云フ、此一番後ノ二十噸未満ノ漁船ト云フコトガアッテ、漁具、隨分網ナンゾハ非常ニ値打ノ大キナモノモアルノデスケレドモ、ソレヲ入レラレヌカッタト云フコトハ今ノ局長ノ御話ノヤウニドゥモ幾ラ大キナ網デ値打ノアルモノモ、網ニ第何號ト云フヤウナモノハ、チヨットムヅカシイト云フノデ、ソレハ省カレルモノデアリマスカ

○政府委員(小平權一君) 此勅令デ定メ

スモノハ、大體今考ヘテ居リマスノハ、今申上ゲマシタ牛、馬、二十噸未満ノ漁船、大キナ農業機械等ニ考ヘテ居リマスガ、サウ云フ漁網等ニ付キマシテハ、是ハ何レ此法ノ執行前ニ、能ク水産關係ノ當業者ノ意見モ聽キマシテ、其範圍ハ若シ必要ガアレバ、サウ云フ方面ニモ伸バシタイト思フノデアリマスガ、現在ノ調べニ依リマシテハ、先ヅ漁船等明瞭ナモノニ限ッタラドウカト考ヘテ居リマスガ、是ハ何レ法律施行前ニ十分必要ノ状態、ソレカラシテソレヲ抵當權ニ設定シタ場合ニ登記スル場合ニ於

テ、明瞭ニ此區別ガ出來テ、登録出來ルカドウカト云フコトヲ十分調べマシテ、必要ニ應ジテ或ハ網ノ中ノ或種類ノモノハ、抵當權ニ入レラレルカトモ考ヘテ居リマスガ、是ハ能ク實際ヲ調べマシテ、尙ホ登記所ノ方ト能ク打合セマシテ、登記出來ルカドウカ十分考ヘマシテ、善處シタイト考ヘテ居リマス

○橋本圭三郎君 興業銀行カラ抵當ニ入レ

テ金ヲ借りルト云フノ中ニハ、漁船及其附屬ノ漁網ノヤウナモノモ入ッテ居リマスネ、ソレダカラソレガ出來ルナラ是ニモ入レラレテモ宜イカ、斯ウ云フヤウニ私ハ考ヘタモノデスカラ……

○政府委員(戸田保忠君) 御尋ノ點ハ漁業

財團トシテ一固リニナッテ居ル問題デアリマス、是ハ個々ノ問題デアリマスカラ、ソコノ所ニ多少ノ相違ガゴザイマス、從テ個々ノモノヲ「アイデンティファイ」出來ルカト云フヤウナ問題ニナリマスノデスガ、財團ノ方トハ其處ニチヨット趣ヲ異ニシテ居ル點ガアリマス、併ナガラ漁具ニ付キマシテハ、實ハ私共ノ方デモ、考究中デアリマシテ、種類ニ依ッテハ出來ヤウカト存ジテ居リマス

○橋本圭三郎君 宜シウゴザイマス、ドウ

是ハナカノ良イコトデアルシ、而シテ又ムヅカシイ、ナカノ之ヲウマクヤルコトハムヅカシイデスガ、大分人ガ要ルデセウネ、農林省ノ方デモソレカラ又是ハ地方ノ縣廳ナドニハ餘リ關係ガアリマセヌカ知ラヌガ、組合トカナントカ云フ方デモ、大分經費ガ掛リヤセヌカト云ヒマスガ、マアソレハドウデスカ

○政府委員(小平權一君) 此方ノ經費ハ、取敢ズ經費ノ掛ルモノハ登記所ノ方デアリマス、登記所ノ方デ、ソレニハ初年度デアリマスカラ僅カナガラ經費ヲ、初年度ノ經費ニ於テ追加豫算ヲ一萬圓計上シテ居リマス、サウシテ是ガ殖エマス、段々登録税モ入リマスカラ、ソレニ從テ經費ヲ増サナケレバナラヌカト思ッテ居リマス、金融ノ方ハ産業組合ガ取敢ヘズ金融機關ニナルノデアリマシテ、産業組合ノ方ニハ從來相當職員ガゴザイマスシ、特ニ此六十三議會デ、農村漁村更生ノ爲ニ、特ニ産業組合ガ中心ニナラナケレバイカヌト云フノデ、各地方ニ待遇高等官ニ該當スル職員及旅費ヲ一人ツツ取りマシテ、ソレヲ各地方ニ配置シテ居ルノデアリマス、尙ホ産業組合ノ監督ヲ履行シ、指導督勵スル爲ニ追加豫算ノ方ニ僅ナガラ事務官ヲ要求シテ居ルノデアリ

マス、マア此法律が相當ニ理解セラレテ、

段々はハ數が多クナルカト思フノデスガ、

初ノ此八年度ニ於キマシテハ、大體施行ス

ルノガ十月頃ニナルカト思ヒマス、ソレデ

此法律ノ趣旨ガ分ルマデニハ相當ノ時間ヲ

要スルカト思フノデアリマス、段々此事務

ガ多クナルカト思フノデアリマス、初ノ時

代ハ、現在ノ各地方ニ配置シテ居ル職員等

デ相當間ニ合フカト思フノデアリマス、漁

業組合ノ方ハ特ニ今回漁業組合改正ニ

伴テノ經費ガ追加豫算デ計上サレテ居ル

コトト思フテ居リマス

○田村新吉君 本案ニ付テ質問ヲ致シテ見

ヤウト思ウタ點モ多クアリマスガ、前者ノ

質問ニ依リ、又政府委員ノ御説明ニ依リマ

シテ大體了解イタシマシタ、他ニ多クノ質

問モナイナラバ、討議ニ入ラレテハ如何デ

アリマセウカ

○委員長(子爵松平直平君) 逐條ニ付テ御

質問ハアリマセウカ

〔アリマセヌ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵松平直平君) ソレデハ唯今

ノ田村君ノ御話モアリマスケレドモ、如何

デスカ、是ハ質問デ終リマシテ、此漁業法

中改正法律案ノ方ノ質問ニ移リマシテ、今

致シタイト思ヒマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵松平直平君) ソレデハ漁業

法中改正法律案ニ付テ御質問ガゴザイマス

レバ此際願ヒマス

○橋本圭三郎君 是ハ私モズット一讀シテ

見タノデゴザイマスガ、大改正デアルケレ

ドモ、中々條項モ非常ニマア澤山アルノデ

チョット分リマセヌガ、察スル所長イ間ノ御

經驗又ハ漁業組合トカ何ト云フヤウナ方

カラ、色々年々農林省ニ對シテ希望ナドヲ

申出テ居ル、サウ云フノヲ今度一度ニ總テ

ヲ網羅シテ御改正ニナッテ、時宜ニ適シタモ

ノヲ拵ヘラレタノグラウト思フノデアリマ

スガ、餘リタントデチョット分ラヌノデア

リマスガ、一條宛ニ能ク分リマセヌガ、サ

ウ云フノデアリマセウネ

○政府委員(戸田保忠君) 只今御尋ノ點ノ

色々漁業法ニ改正ノアリマシタノハ全部解

決シタト云フ所マデ行テ居リマセヌ、漁業

權ニ關スルモノハ此際根本的ノモノニ觸レ

テ居リマセヌノデ、共有者ニ關係ノモノノ

手續ノ規定ヲ若干改正イタシテ居リマスガ、

漁業權ニ關スル部分ハ割合ニ少ウゴザイ

マス、ソレカラ主トシテ改正ヲシマシ

ス、漁業組合ニ關シマスル事項ハ此今

農村漁村ノ更正ト云フコトノ問題トノ關係

モゴザイマシテ、漁村ノ更正ニ資スル爲ニ

ハ、只今ノ漁業組合ノ制度デハ少シ足ラヌ

所ガゴザイマス、其點ニ觸レマシタノガ主

ナル點デゴザイマス、デ漁業組合ハ御承知

ノヤウニ漁業權ノ主體デアリマス同時

ニ、一方産業組合法ノ如ク、ソレニ稍、類似

イタシマシタ漁業ニ關スル共同施設ヲ行フ

コトガ出來ルヤウニ現行法デハナッテ居リ

マセヌノデ、一方サウ云フ經濟的ノ仕事ヲ

致シマスノニハ責任程度ガ現行法デハ明カ

デアリマセヌノデ、單純ナ會員制度ノ組合

ハソコノ所ガ中途半端デアリマスノデ、實際

ニ工合ガ悪い點ガゴザイマスノデ、從テ此

度ノ改正ニ依リマシテ、漁業權ニ關スル共

同施設ノミナラズ、漁業組合ノ經濟ニ關ス

ル共同施設迄、一方ニ於テ擴張マシタガ、

其代リニサウ云フ事業ヲ營ミマス際ニハ出

資制度ヲ採ルコトガ出來ルヤウニ致シマシ

テ、半面ニ出資制度ヲ採ルニ付テハ組合ノ

責任ノ制度ヲ明カニスルト云フコトデ、産

業組合ト同ジヤウナ類似ノ責任制度ヲ採ラ

ナケレバナラス、併ナガラ漁業組合ノ實況

ト致シマシテハ、總テガ産業組合ノヤウニ

シマフト云フコトヲ強制シマスコトハ實情

ニ適シマセヌノデ、中間ノモノヲ置キマシ

テ、現状デ或程度ノ經濟施設ハ出來ルコト

ニシテ置キマシテ、其代リ其モノハ責任制

度ダケヲ……無限責任保證責任ト云フヤウ

ナ責任ダケヲ明カニスルト云フ、中間的ノ

制度ノ組合ヲ認メタ譯デアリマス、ソレカ

ラ又從來ノ漁業組合ト全然同ジニ改正前ノ

モノモ認メマスガ、從テ其モノハサウ云フ

經濟的ノ行為ハ認メナイト云フコトニ致シ

タノデアリマス、一方漁業組合ハ、先程産

業組合トノ關聯ニ關シテ更正部長カラ申上

ゲマシタヤウニ、或モノニ付テハ或ハ産業

組合ニ加入シテ行ケバ、此漁村ノ經濟更生

ニ役立チ得ルモノモアリマス、サウ云フ場

合ニ産業組合ニモ加入ノ途ヲ開イテ宜イト

云フコトニナッテ居レバ、産業組合ニ加入

イタシマスルニ矢張り責任制度ガ明瞭デア

リマセヌト出來マセヌノデ、サウ云フ色々

ノ關係カラ漁業組合制度ノ改正ヲ行ヒマシ

タノデ、條文ガ非常ニ多クナリマシタノデ、

只今迄ノ漁業組合ノ方ハ事業ガ條文ニ書イテ

アリマセヌ、實際ハ古イ時代デアリマスノ

デ目的ダケ書イデアリマス、アトハ訓令デ

ヤッテ居リマス、從來訓令事項デ働イテ居

リマシタノヲ、今度只今申上ゲルヤウニ事

業ヲ明確ニシマシテ法律ニ現シマシタ譯デアリマス、之ガ爲ニ條文ガ長クナリマシテ、從テ今ノ責任制度トカ、出資制度等ヲ規定シマシタ爲ニ法文ガ餘計ニナリマシタ、ソレカラモウ一ツハ漁業ノ取締ニ關スル事項ヲ一二足りマセヌ所ヲ加ヘマシタ、漁業取締ニ關スル事項トシテ加ヘマシタノハ、從來水產動植物ニ有害デアリマスルモノヲ遺棄スルモノニ關スル制限若クハ禁止ノ條項ハゴザイマスガ、漏泄ト云フヤウナモノハアリマセヌデシタガ、ソレヲ入レマシタアト、ソレカラ水產動植物ノ移植デアリマスガ、是ハ外國カラ持ッテ來マス魚ト云フヤウナモノデ、從來ノ鮎トカ、サウ云フ特殊ノ日本產ノモノニ害ガアルト云フヤウナモノモナイデハナイ、ソレニ付テノ制限禁止ノ規定ヲ、從來アリマシタモノニマア附加ヘマシタ、ソレカラ從來ノ規定デハ汽船「トロール」漁業ト汽船捕鯨業ダケ主務大臣ノ許可ニナッテ居リマシテ、從テソレニ對スル罰則等モ法律ニ依ッテ規定サレテ居リマシタガ、今日ノ漁業ノ發達ノ上カラ申シマスト、母船式漁業ト云フモノモ相當多イノデアリマス、從來規定シテ居リマスモノ以外ノマア新興ノ漁業デアリマス、是ハ權衡上入レル必要ガアリマス、ソレカラ汽船底

曳網漁業、是ハ「トロール」ニ類シタモノデアリマスガ、非常ニ盛ニナリマシテ、沿岸ノ漁業トノ調和關係ナドデ始終争ヒガ起ル漁業デアリマスカラ、法律ニ規定スル必要ガアルト思ヒマシテ之ヲ入レマシタ、是ハ漁業取締ニ關シテ入レマシタモノデアリマス、アトハ漁業組合ト漁業組合聯合會ノ點カ經過の規定ヲ相當要シマスカラ割合ニ附則ガ長クナッテ居リマス、ソナヤウナコトデ條文ノ數ガ多ク見エマス、事柄ト致シマシテハ漁業組合ニ關スル事項ト、只今申上デマシタ漁業權ノ取締ニ關スル事項ト、漁業權及入漁權ニ關スル事項、此入漁權ニ關シマスル事項ハ手續的ノ規定ダケデアリマス、共有者ノ持分ノ處分ニ關シマスル同意ノ關係デアリマスルトカ、或ハ漁業權入漁權ヲ變更シマス場合ノ住所ガ不明デアルト云フヤウナ場合、從來ハ詰リ全員ノ同意ヲ要シタノデアリマスガ、實際ノ場合ニ於キマシテハ、全員ノ同意ヲ要スルト云フコトニ致シマス、出稼ギニ行ッテ居ル關係トカ、或ハ偶、ニ漁ニ行ッテ死ンダ者ガアルト云フヤウナ關係カラ、全員ノ同意ト云フコトハ出來マセヌノデ、ソレヲ此度改正シタノデアリマス、大體今申上デマシタ三項目デアリマスガ、一番大キイノハ組合關係

ノ改正デアリマス、アトハ經過の規定デ比較的條文ガ多クナル、斯ウ云フノデアリマス
○橋本圭三郎君 モウ一ツチョット序ニ伺ヒタイ、今ノ御話デ能ク分リマシタガ、漁業權ノコトハ幾分ハ入ッテ居ルケレドモ、根本的ニハ其改正ハ行ッテ居ラヌヤウナ一番初メノ御話ダッタノデスガ、ソレハ今、疑問モアリ又議論モアルンダガ、其法律ノ中ニハ、マダ農林省ノ御意見モ決ッテ居ラナイカラ、ソレハ此中へ入レナカッタト仰シヤッタノデスカ、ソコノ所ヲ私ハチョット聽キ損ッタハデスガ、漁業權ノコトハ餘リ此中ニ入ッテ居ラヌト仰シヤッタノデスガ、チョット其處ヲ……
○政府委員(戸田保忠君) 先程ノ御尋デ、色々水產業界等ノ方面カラ時々色々論ゼラレテ居ル事項等ニ付テノ改正デハアルマイカト云フ御尋ガアリマシタノデ先程申シタノデアリマスガ、漁業權ニ關シマシテハ抵當ノ關係其他カラ只今デハ二十年更新ト云フ制度ヲ或ハ更新デナク延長ト云フ制度ニ直スベシト云フ問題モゴザイマスシ、或ハ二十年モ短イカラ三十年若クハ五十年ニ期間ヲ延長スベシト云フ論モアリマス、又一步進ミマシテソレデハ足ラナイカラモット無

期限ノモノニシロト云フヤウナ論モアリマス、色々ナ考ヘ方デゴザイマス、是ハ私共ノ、只今考ヘテ居リマス所デハ、相當考究ヲ要スルコトデアリマシテ、其何レニスルカ、現行ノ方ガ宜イカト云フコト付キマシテハ俄ニ實ハ決シ難イト思ヒマス、即チ水產業家トシマシテハ色々ナ註文ナリ希望ガゴザイマスガ、是ハ私共ノ考トシマシテハ、今考ヘ方モ決メテ居リマセヌ、研究ヲ要スルト思、テ居ル次第デアリマスカラ、今決メテ居リマセヌ
○橋本圭三郎君 今ノ仰シヤルヤウナ議論ハ雜誌ナドニモ時々出テ居ルヤウデアリマスガ、仰シヤルヤウニ中々ムツカシイ問題デスガ、唯我々素人ガチョット考ヘタ所デハ、アレハドウ云フコトニナッテ居リマシタカネ、此折角漁業權ノ許可ヲ得テ居ッテ其行使ヲシナイ場合ニハ、アレハ何年行使シナイト云フト免許ヲ取上ゲルト云フコトガアッタト思ヒマス、アレヲチョット……
○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、「漁業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ一年間其ノ漁業ニ從事スル者ナキトキ又ハ引續キ二年間休業シタルトキハ行政官廳ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得」トナッテ居リマス

○橋本圭三郎君 其條ハ大イニ平常適用サレテアルノデアリマスカ、「得」トアルノデ、シナクテモ宜イノデスカラ、何年モノ、何ニモシテ居ラヌデ、今度人ガ何カスルト云フト妨ゲヲシテ、金ヲ呉レダノ何ト云フ中ミ

悪イ人間ガアルヤウデアリマスガ、私共ノ考ヘタ所デハ、此條ハ國家ノ利益ト云フコトカラ考ヘテモ、他ニソレヲヤル人ガアルノナラソレニヤラセル方ガ宜イノデスカラ、此條ハ大イニ適用サレタ方ガ宜クハナイカ、併ナガラ非常ノ其漁村ニ大火事ガアッテ、サウシテ網モ焼イテ仕舞、タ、或ハ船モ壊シテ仕舞、タト云フ風ノモノマデ、厲行セラレルト云フコトヲ私ハ望ムノデナイノデスカ、其利益ヲ國家カラ貰、テ居リナガラ、ソレヲ等閑ニシテ懶ケテ居ルヤツニハ各府縣知事ニ訓令ヲ下サレテ大イニ厲行サレルト云フコトガ能クハナイカ、斯ウ思ッテ居ルノデスカ、ソコ等ヲ一ツ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 只今ノ漁業法ニ十二條ノ規定ニ基キマシテノ處分ノ問題ハ本省ノ方デ直接免許ヲ致シマス占用漁業權ニ付キマシテハ御話ノヤウナ免許ヲ受ケテモヤラナイト云フ風ナ實例ガ餘リゴザイマセヌ、是ハ漁業組合ニ多ク許シテ居リマス

關係デス、地方廳ノ關係ノニハ間々例ヲ聞カナイノデモゴザイマセヌ、是ハマア御話ノヤウニ免許ヲ受ケマシテ人ノ妨ゲヲスルト云フコトハ宜シクナイカラ、是ハ厲行ヲ期スルト云フコトニ努メテ居リマス

○子爵西大路吉光君 今後ノ此改正法律案デハ、水産ノ動植物ヲ保護スル爲ノコトモ出テ居ルノデアリマスガ、誠ニ御尤ナコトデ水産ノ植物ヲ保護スルコトガ大變必要デアルト私ハ思フノデアリマス、ト申スノハ近時遠海漁業トカ若クハ又單純ナ漁船ナドニモ石油發動機ヲ用ヒテ運行シテ居ルノガ段々殖エテ參、タノデアリマスガ、ソレガ爲ニ其石油ノ水上ニ浮游スルガ爲ニ從テ植物、藻ナドヲ枯ラシテ、延テハ其處ニ棲息シテ居ル魚族ガ滅、テ來テ非常ニ困ルト云フヤウナコトガアルノデアリマスガ、其方ニ付テノ何カ取締リニ付テハ、無論此中ニ含ンデ居ルト思フノデスカ、アルノデアリマスカ、ソレヲ一ツ伺、テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 只今御尋ノ水質汚濁ノ問題ニ付キマシテハ、漁業法デハ只今ノ點ニ付テ非常ニ十分デアルトハマダ言ヘナイノデアリマスガ、色々關係スル所ガ廣イノデアリマシテ、特別ノ水質汚濁ノ豫防

法ト云フヤウナモノノ制定ノ必要ガアルト云フコトデ、多年實ハ問題ニナ、テ居ルノデアリマス、是ハ内地バカリデナク國際的ノ問題ニナ、テ居リマシテ、亞米利加方面デハ頻ニ其説ガ唱道サレテ、是ハ主モニ油ニ付テデアリマスガ、屢、會議等ガア、テ居ルノデアリマス、ソレカラ歐羅巴ノ方デハ油バカリデナク廣ク水質ヲ汚濁スル各種ノモノニ付テ論ゼラレテ居リマスガ、サウ云フ法

ノ制定ニ向、テ、又國際的ニ何等カノ方法ヲ講ズベシト云フノデ、屢、國際的ニ會議ガ開カレテ居ルノデアリマス、私共モ其必要ヲ感じテ居リマスガ、何分ニモ範圍ガ獨リ漁業バカリデハアリマセズ、重要ナ工業方面ニモ關係ガアリマシ、各種ノ方面ニ關係ガアリマスガ、建議請願等モ貴衆兩院デモ數回通、テ居ルヤウデアリマス、今度ノ議會デモサウ云フ問題ガ論ゼラレテ居リマシタ、中々關係スル所ガ廣汎デアリマス爲ニ、今直ニ實現ト云フ迄ニハ參リマセヌノデ、色々調査シテ居ル所デアリマス

○田村新吉君 本法中改正セラレムトスル第十五條ノ二ニ「共有者ノ住所又ハ居所分明ナラザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ裁判所ノ許可ヲ以テ其ノ者ノ同意ニ代フルコトヲ得」トアリマス、必要ガア、テ斯ウ云フ

コトニセラレムトスルノデアルト思ヒマスルガ、斯様ナコトノ生ズル場合ヲ御説明願ヒタイ

○政府委員(戸田保忠君) 是ハ漁業權又ハ入漁權ノ共有デ持タレテ居リマス場合ニ、或ハ漁業權ノ種類ヲ一ツ殖ヤシタイト云フヤウナコトガアリマス、官廳認可ナドニ致シマス其場合ニ、之ヲ變更サスヤウナ場合ニハ他ノ共有者全部ノ同意ガナケレバナラヌノデアリマスガ、實際ノ問題ト致シマス、漁業權ノ共有ノ例ヲ申シマス、中ミ三百名ノ場合トカ百名ノ場合、五十名ノ場合、十名ノ場合トカ、色々調査ヲ致シテ居リマスガ、共有者ノ數ガ相當多イノデアリマス、所ガ其中ニ一人出稼ギニ出、他ノ地方ニ行、テ居リマス、トカ云フヤウナコトデ、所在ノ分ラナイヤウナコトガアリマス、其全體ノ人、大部分ノ人ガ其必要ヲ感じマシテモ、法ガ運用出來ナイト云フヤウナ場合、其場合ニ住所若クハ居所ガ分明デナイト云フ場合ヲドウ云フ風ニスルカト云フ考ヘ方デアリマスガ、或ハ十五條ノ場合ノヤウニ、三分ノ二以上ノ同意アルト云フヤウナ考ヘ方モ一ツデアリマスケレドモ、ソレハ本人ノ居ル居ラスト云フヤウナコトノ規定ハ、例ヘバ民法ノ失踪ノ宣告

ナドノ關係カラ言ヒマシテモ、アア云フ特殊ノ規定ガアルヤウナ譯デアリマスカラ、裁判所ガ居所ガ分明デアルカ無イカノ手續ヲ致シマシテ、其裁判所ノ決定ヲ以テ組合長ナリ此共有者ガ届出ヲ行政官廳ニスル、ソレヲ以テ同意ガアッタ同ジニ取扱フト云フ一種ノ便法ヲ規定シテ意味デアリマス

○田村新吉君 此居所不明ノ者ガ極メテ少數デアル場合ニ於テハ、サウ云フ便法モ必要デアルカモ知レマセヌ、又此變更セムトスル其目的ヲ達セムガ爲ニ能ク調べレバ分ルモノデモ、或ハソレヲ詳シク調べズシテ斯様ナ變更ヲセムトスル、企テル者モナイトハ言ハレナイ、ソレヲ裁判所ガ職權ヲ以テ許可スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、其不明ナル者ノ何時頃カラ不明デアルト云フヤウナ、其期間ト云フヤウナ必要ハアリマセヌカ

○政府委員(戸田保忠君) 只今御尋ネデアリマシヤウナコトヲ定メマス爲ニ勅令デ定メマシテ、或ハ一年デアルトカ、六箇月デアルトカ云フヤウナ或期間ヲ定メテ裁判所ガ許可ヲ與フルニ付テノ基礎ヲ定メル積リニナッテ居リマス

○田村新吉君 サウ云フ期間ヲ置イテ決メルト云フコトニナッテ居リマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 左様デゴザイマス

○田村新吉君 其後ニ於テ居所ガ明カニナッタラドウシマス

○政府委員(戸田保忠君) ソレハ勅令ヲ定メマス時ノ問題ニナルト存ジマスガ、假ニ勅令デアッテモ半年トカ一年トカ云フ風ニ期間ヲ定メテソレデ效力ガ生ズルヤウニ規定サレテ居レバ、一應ソレデ行クヨリ仕方ガナイト大體私ハ考ヘマスガ、此點ハ少シ司法省ノ方ノ政府委員デゴザイマセヌト、ハッキリト私デハ申上ゲ兼ネマスノデスガ……

○田村新吉君 サウスルト、現在其者ハ調べテ見レバ居ッタノデアルケレドモ、調べ方ガ粗漏ノ爲ニツイ分ラナカッタト云フコトデソレデ半年過ぎタ、ソレデ其者ノ權利ハ消滅スルト云フコトニナルヤウニ思ハレマスカ……

○政府委員(戸田保忠君) 是ハ一種ノ公示催告ミタイナ手續ニナル譯デアリマシテ、他ノ方ノ問題ノ類例ニ依リマシテ期間等ヲ定ムルコトニナルト存ジマス、色々裁判上ノ手續ノ上デノ公示催告ノ手續ガアルヤウデアリマスガ、ソレニ類似ノ手續ノ取扱ヲ受ケルコトナルト存ジマス、從テ其定メ

マシタ期間ガ經過スレバ同意ガアッタモノト見ルト云フヨリ仕方ガナイモノト思ヒマス

○田村新吉君 ソレハ其邊ノコトヲモウ少シ親切ニ考ヘル必要ハナイデセウカ、能ク戸籍ナドニ於キマシテモ本人ノ知ラヌ間ニ戸籍ノ肩書ニ意外ノコトガ起ッテ居ルト云フコトモアルノデス、本人ニモ或場合ニ依ッテ知リヤウガナイカモ知レヌ

○政府委員(戸田保忠君) 其場合ハ或手續ノ爲ノ同意ノ問題デケデゴザイマシテ、權利ノ消滅ノ規定デハナイノデゴザイマスカラ、多少或一人ノ爲カラ言ヘバヤカマシク申セバ御説ノヤウデアリマスケレドモ、或手續ヲスル爲ニ多數決ミタイニ全員ノ同意ヲ得ナケレバナラヌト云フ場合ニ、偶、居所若クハ住所ノ分明デナイ人ノ同意ヲ得ラヌ場合ニ、ドウスルカト云フ問題デアリマスノデ、併シ其人ガ其時ニ分ラナカッタ爲ニ其權利其モノガ消滅スルト云フ問題ニハ觸レテ居ラナイ規定デゴザイマスガ、其點ハ已ムヲ得ナイノデハナイカト思ヒマス

○田村新吉君 ソレハ三分ノ二ノ同意ヲ得ナケレバナラヌ、若シ其二三ノ爲ニ三分ノ二ニハナラナカッタト云フ場合ニハドウシマス

○政府委員(戸田保忠君) 十五條ノ二ノハ三分ノ二ノ同意ノ問題デハゴザイマセヌデ、偶、住所若クハ居所ノ分ラナイ人ダケニ付テノ問題デゴザイマス

○田村新吉君 其居所ガ不明デアッタト云フノニ、サウ云フ居所ノ不明ニナルト云フモノノ何カ斯ウ云フ場合ニ於テ居所ガ不明ニナルト云フ御説明ガアリマセウカ、其後ノ十五條ノ二ノ又其中ニ「登録シタル入漁權者ノ住所又ハ居所分明ナラザル場合」ト云フヤウナ場合モアリマスガ、登録シタ人、其人ガ住所居所ガ不明デアルト云フ場合ハ如何ナル場合ニ於テ起ルノデアリマセウカ

○政府委員(戸田保忠君) 此漁業權、入漁權ハ總テ登録スルコトニナッテ居リマス、ソレデ登録ヲ致シマスと云フノハ、總テ登録スルノデアリマスガ、二十八條デ十五條ノ二ノ規定ノ今住所若ハ居所ガ分明デナイ場合ニ、十五條ノ二ノ規定ヲ準用スル譯デアルノデアリマシテ、住所若クハ居住ノ分明デナイト言ヒマスノハ、漁業組合ノ組合員ノ中ニ或漁師ガアリマシテ、組合ノ一員ガドウシマシタカ、夜逃ゲシマシタカ何カシマシタカデ、何處ニ居ルカ分ラヌト云フヤウニナッタト云フ場合ニ適用ガアルト云フ

理窟ニナルノデス

○田村新吉君 私ガ思ヘバ、或ハ漁ニ出テ

暴風雨ニ遭ウテ歸ラナンドト云フコトモ起
ル、所ガソレハ、或島ニ行テ住ンデ居テ、

歸テ來ル機會ヲ長ク待テ居、タト云フコ

トモアルカモ知レナイ、サウ云フヤウナモ

ノヲ、何時マデモト云フ譯ニハ行キマスマ

イケレドモ、其居所不明ノ者ガ、居所分明ニ

ナ、タ時ニハ斯ウデアルト云フヤウナコトヲ、

考ヘテ置ク必要ハナイモノデセウカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ、或權利

ヲ消滅セシメルノデアリマス、御説ノヤ

ウニドウシテモ取扱ハネバナラスノデアリ

マスガ、權利ヲ消滅セシメル場合ノ規定デ

ハゴザイマセヌ、或官廳ニ變更ノ手續等ヲ

スルト云フヤウナ場合ニ、詰リ全員ノ同意

ガナケレバイカヌコトニナ、テ居リマスノ

ヲ、一人ナリ二人ナリ居所不明ノ人ハ無ク

テモ宜イ、ト云フ取扱ノ規定ニナ、テ居リマ

スノデ、此點ハ多數ノ爲メカラ言ヘバ已ム

ヲ得ナイノデハナイカト思ヒマス、或漁業

權ヲ剝奪スルトカ何トカ云フ問題ニハ關係

ハアリマセヌノデス

○田村新吉君 御説デハアリマスガ、矢張

リ此漁業權又ハ入漁權ヲ變更セムトスル場

合ニ於テ、共有者ノ持テ居ル權利ハソコニ

相當ニアルノデアリマス、マア併シ私其點
ダケノ思フ所ヲ御注意申上ゲルダケデアリ
マス

○政府委員(戸田保忠君) 是ハ私ノ御説明

ガドウモ足ラスノカト思ヒマスカラモウ一

言申上ゲマスガ、變更ト言ヒマスルノハ漁

業ノ種類ヲ附加ヘルトカ減ラストカ云フヤ

ウナ關係デアリマシテ、處分シテ或モノヲ

止メルトカ拋棄スルトカ云フノハ、此法全

體ノ用語ノ上デ色ミ分ケテ使、テ居リマス

ノデゴザイマス、從テ先ホド申上ゲマシタ

ヤウナ風ニナルノデゴザイマシテ、或權利

ヲ拋棄イタシマシタ場合トカ、或ハ處分ト

カ云フ風ニ、色ミ文字ヲ使ヒ分ケテ使、テ居

リマスノデ、變更ト云フ程度ニテハ恐ラク田

村サンノ御心配ニナ、タヤウナコトニハ觸レ

ズニ濟ム關係ニナルト思フノデアリマシテ、

御心配ノ所マデハ此變更ト云フモノデハ行カ

ナイノデハナイカ、多分御心配ニナ、テ居ル

ヤウナ點ハ、今ノモット一層進シダモノデア

リマストサウナリマスケレドモ、此法律ノ用

語ノ上デ色ミ使ヒ分ケテ居リマスモノデアリ

マスカラ、ソコハ御心配ニナルヤウナモノ迄

ハ、此規定デハ及バナイモノト私ハ存ジテ居

リマス、念ノ爲ニ申上ゲマス、ソレカラ十

五條ノ二ノ方デナク、十五條ノ方ノ改正デ

アリマスガ、共有者ノ大部分ノ同意、是モ

本來ハ民法ノ規定ニ依リマス、共有者ノ

共有物ハ其持分ニ應ジタル使用ト云フコト

ニナ、テ居リマシテ、他ノ共有者ノ同意ト云

フモノハ要ラスト云フコトニナ、テ居リマ

ス、ソレヲ漁業法デハ特ニ全員ノ同意アル

ニ非サレバト今日迄シテアリマシタノデス

ガ、全員同意ハ動カヌモノモアリマスカラ、

今度ハ三分ノ二ト直シマシタヤウナ譯デ、

本來カラ申シマス、共有者ノ持分ノ共有

物ハ民法デハ自由ト云フコトニナ、テ居リ

マスノデ、之ヲ漁業法デハ其一部ハ制限ヲ

致シマシタガ、餘リ制限スルト實際ニハイ

カヌノデ、三分ノ二ト少シ緩メタト斯ウ云

フコトニナ、テ居リマス

○田村新吉君 大體了承イタシマシタ、尙

ホ私承ハリタイト思ヒマスノハ、四十三條

ノ三以下ニ「出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定

ムベシ」ト云フコトガアリマスガ、「出資一

口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」

トアリマス、此出資一口ト云ヒマス其金高

ハ、凡ソドレ程ニ御考ヘニナ、テ居ルデセ

ウカ

○政府委員(戸田保忠君) 是ハ大體ノ考ヘ

方トシマシテハ、只今産業組合デヤ、テ居

リマス程度ノ積リデ居リマス

○田村新吉君 サウ致シマス……

○政府委員(戸田保忠君) 産業組合デハ

「組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテ

ハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス」ト云フノガ

原則ニナ、テ居リマスガ、實際ノ運用ト致

シマシテハ、漁業組合デハイキナリ此處迄

ニ行キマスカドウカ、多少考究ヲ要スルト

思ヒマスガ、マア最高限ヲ今ノ産業組合ヨ

リ少クトモ以下ニシタイト考ヘテ居リマス、

ソレカラ實際ノ拂込等ニ付キマシテハ、分

割シテ拂込ヲスルコトヲ認メマス積リデア

リマシテ、一度ニ五十圓ナラ五十圓ヲ出サ

セルト云フコトハ、勿論漁業者トシテハ隨

分困難ナ場合モアリマセウカラ……

○田村新吉君 其一口ノ金額ガ餘リ多額デ

アル、實際當事者ガ困ラウト云フ點カ

ラ御尋ヲシタノデアリマスガ、分割ニ依ル

方法モアルト云フ御説デ了承イタシマシタ

○高島順作君 此「第三十五條第一項ヲ左

ノ如ク改ム」ト云フノガアッテ「汽船ロー

ル漁業、母船式漁業」以下ズットアリマスガ、

是ハ從來府縣知事ガ許可ヲシテアッタコト

ト思フノデアリマス、今度主務大臣ガ許可

スルト云フコトニ改メラルルノデアリマス

ルガ、此大キナ「トロー」式ノ遠洋漁業ヲ

スル者ハ暫ク措キマシテ、所謂發動機デノ

機船底曳網デアリマス、是ハ從來今ヨリ七八年モ先カハ、非常ニ獎勵……助成金ヲ交付セラレテ熱心ニ御獎勵ニナツタ結果、相當ニ船ガ澤山出テ來タ時代ガアルノデアリマス、御承知ノ其後所謂近海ノ專用漁業ヲ侵スト云フコトデ、常ニ小漁業者ト漁場ノ爭ヲ致シ、是ガ爲ニ段々縣ノ方ニ問題ガ起リマシテ、縣デハ成ルベク之ヲ許可セナイ方針デヤツテ居ルヤウデアリマスルガ、今度改メテ主務大臣ガ之ニ對シテ許可ヲ與ヘルト斯ウ云フコトデアルノデアリマスルガ、從來モ所謂近海專用ノ漁業者ニ非常ナ害ヲ與ヘル、所謂漁場ヲ侵害スルト云フノデ常ニ爭議ガ起キテ居ル、大分、縣アタリデモ困テ、或ハ監視船ヲ造リ種々ナコトヲヤツテ居ルノデアリマスルガ、今度此改正ニ依テ成ルベクサウ云フ小サイ機船ノ底曳網ノ漁業ハ御許シニナラスト云フ御方針デアリマスカ、ドウデアリマスカ、其點ヲ伺テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 機船底曳網漁業

ハ、最近ニ於キマシテハ非常ニ沿岸漁業トノ調和ガ取レナクナツテ居リマシテ、沿岸漁民カラ一種ノ、所ニモ依リマスカ、怨嗟ノ聲ノ的ニナツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソコデ往々ニシテ兩者ノ衝突ガ起リマシテ、沿岸漁民ノ方カラハ實力行爲デ以テソレヲ何トカスルト云フヤウナ狀況ガ所ニ依テハ起ル、又一方底曳網漁業ノ方デハ從來ノ規定デアリマス、僅カバカリノ罰金等デアリマスカ、其位ノモノハモウ先キニ出シテ置ク覺悟デ非常ニ違反ヲ行ヒマスト云フヤウナ關係ガアリマシテ、實ハ始末ガ付カヌヤウナ狀態ニナツテ居ル、從テ是迄ハ地方長官ノ認可デアリマシタノヲ、此一月カラ實ハ機船底曳網漁業ハ農林大臣ノ認可ニ致シマシタ、併ナガラソノ法規ノ根據トシマシテハ、漁業法デハ三十四條ノ取締デソレヲヤツタノデアリマスガ、今度ノ規定ニ入レマシタノハ、三十五條ノ方ノ許可漁業ト云フ方ニ入レマシタ、單純ナル認可デナク、許可ヲ受ケナケレバナラスト云フコトニ致シマシタ、方針ト致シマシテハ固ヨリ許可ヲ致シタクナイト思テ居リマス、今日マデ多過ギマシテ困リマシテ、一方沿岸漁業ヲ侵スト云フコトニナツテ居リマス、サウ致シマシテ又罰則ガ非常ノ差ガ出來マスノデ、今度入レマシタ三十五條デ行キマスト、直接法律デ以テ罰則ガゴザイマスカ、或程度マデノ罰金等ガ科セラレマス、只今マデハ省令ナリ、縣令ノ範圍デアリマスカ、極ク僅カデアリマスノデ、初メカラ覺悟シ

テ無免許デヤツテ居ルノガアリマシタ、或ハ甚ダシキハ監視船ニ向テ、捕ヘラレタラ衝突スルト云フヤウナコトデ、私共ノ監視船ガ今年一月ニ横腹ニ穴ヲ明ケラレタモノモアリマスト云フヤウナコトデ、ソノナ風ニナツテ居リマシテ、餘程取締ヲ嚴ニスル必要ガアルト思ヒマス

○高島順作君 御尤モデ、其通りデアリマシテ、實ハ海上ノコトデアルカラシテ、其底曳網ノ禁止區域ガ、所謂境ガナカク面倒デ、常ニ爭議ヲ起シテ困テ居ル問題デアツテ、我共モ所謂其近海ノ小漁業者ノ爲ニ十分ニ取締ヲシテ載キタイ、斯ウ思テ居ルノデアリマス

○政府委員(戸田保忠君) 只今ノ點ハ丁度

事態ガ仰セノヤウナ狀況ニナリマシタノデ、先達ノ臨時議會デ御協賛ヲ得マシテ、本省ノ方ノ取締船モ二艘七年度ニ造テ載クヤウニ致シマシタ、ソレカラ地方ノ方デハ十縣ニ對シマシテ補助金ヲ交付シマシテ、取締船ヲ七年度ニ新タニ建造イタシマサウニ致シタノデアリマス、八年度デハ本省ノ方ニハゴザイマセヌガ、地方廳ニハ八縣分ノ豫算ヲ此度御認可戴キマシテ、七年ト八年ニ掛ケマシテ、今ヨリハ十八艘取締船ガ餘計出來ルト云フコトニナツテ居リマス、本省ノ方ノ二艘ヲ入レルト丁度二十艘取締船ガ七年カラ八年デ出來マスカ、餘程其狀況ハ變ハルコトト思ヒマス

○高島順作君 其取締船ハ府縣ニ補助ナサルノデアリマスカ、矢張り漁業組合ガサウ云フ監視船ヲ造ルト云フ場合ニハ、組合ニモナサル御方針デアリマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 只今申上ゲマシタ七年度ノ十艘ト八年度ノ八艘ハ縣其モノニ限テ居リマス、縣費デ動カシマス場合デアリマシテ、縣全體ノ漁業ノ取締ニ使ヒマス爲メデアリマス

○男爵赤松範一君 昨年帝國水產會ト大日本水產會ノ名デ以テ漁業法ノ改正建議ガサレマシタガ、今度ノ漁業法ノ改正ニ付テハ大體其建議ノ要望ハ取入レラレタモノノヤウニ拜見イタシマスガ、此施行規則ノ方ハ、矢張り此建議ノ中ニアリマス希望ノ點ハ大體御容レニナル御考デアリマスカ、其邊ヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(戸田保忠君) 施行規則ハ此法ノ改正ヲ致シマシタ條文ニ照應スルヤウニナリマスノデ、今ノ水產會カラノ希望條項トノ關係ニ付テハ、今チヨット何トモ申上ガ兼ネルノデアリマスカ、此法ヲ運用イタシマス上ニ都合ノ好イヤウナ今度ノ規定ニ

基イテノ改正案デアリマスノデ、根本ノ點ガ水産會等ノ希望シテ居リマスコトヲ取入レラレマシタコトハ、自然ニ其施行規則モ同じ系統デアリマスカラ取入レラレルコトニナリマス、根本ニ取入レテ居リマセヌコトハ、施行規則デ取入レルト云フコトニハ參リマセヌ關係ニナリマス、先程橋本サンカラ御話ノアリマシタ際ニ申上ゲマシタヤウニ、丁度只今御尋ノ水産業界ヲ代表シテノ意味ノ兩水産會カラノ建議等ヲ取入レテ居リマセヌ部分モアリマス、ソレハ主トシテ漁業權ニ關スルモノデアリマス、水産會等ニ於キマシテハ漁業權ハ無期限ニシテ貰ヒ

或點ニ於テハ希望條件ニ觸レテ居リ、或部分ノ改正ハ相當民間デ希望ナドヲ致シテ居リマス點ニ觸レルコトモ或程度ニハ出來ルカト、存ジテ居リマス

○田村新吉君 四十三條ノ九「漁業協同組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合ノ地區内ニ住所ヲ有スル者ニシテ漁業者ニ非ザルモノヲ組合員ト爲スコトヲ得」トアリマス、其次ニ「第四十三條第四項ノ規定ハ漁業者ニ非ザル組合員ニハ之ヲ適用セス」是ハ此四十三條ノ第四ノ經費ノコトデアラウト思フノデアリマスガ、之ニ付テ一應御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 只今御尋ノ四十三條ノ九ノ第二項ノ「四十三條第四項ノ規定ハ漁業者ニ非ザル組合員ニハ之ヲ適用セス」ト申シマスノハ、現行ノ法律ノ四十三條ノ第四項ノ「專用漁業權又ハ入漁權ノ範圍内ニ於テ各自漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス」ト云フ此規定デゴザイマス、是ハ漁業者ダケニ限リマシテ、漁業者以外ノ者ハ、例ヘバ米ノ共同購買ナドヲスルト云ウヤウナ場合ニ、此漁村ノ部落デ漁業者以外ノ者モ入レマシテ、米ノ共同購買ナドハ例ヘバ漁業ニ從事シテ居ラヌヤウナ者ニモ其組合ノ經濟施設ヲ及ボスコトガ宜イト云フヤウナ意

味カラ、漁業者以外ノ者ノ加入ヲ認メタノデゴザイマスガ、一方他ノ産業組合ナゾト違ヒマシテ、漁業組合ニ於キマシテハ、漁業權ガ主體デアルト云フコトガ大切ナコトナノデアリマスノデ、漁業者以外ノ者ハ此共同施設トシテノ事業ニハ入レル意味デ組合員ト致シマスケレドモ、漁業權ニ關シマシテハ漁業者ノ權利ヲ侵スト云フヤウナコトニナツテハイケマセヌカラ、從テ漁業者以外ノ者ハ、漁業組合ニアル經濟施設等ニ付テノ部分ニハ恩澤ヲ受ケルト言ヘバ言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、組合員トシテ同じ地位ニ置カレマスガ、漁業權其モノダケハ別デアル、是ハ漁業者ニ限ルノデアルト云フ趣旨ガ其適用セズト云フ意味ニナリマス

レルト思ヒマス、今ノ法文ノ構成ノ上デハ……唯斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、議決權等デハ是ハ漁業組合令ト云フ勅令デ別ニ出來テ居リマス、漁業組合令ノ何レ改正ヲシナケレバナラヌガ、其際ニ議決權ニ付テハ十分考慮イタシマシテ、漁業者以外ノ者ノ議決權ノ爲ニ、肝腎ノ本元ノ漁業者ガ擧廻サレテ、誰ノ組合ニナテ居ルカ分ラヌヤウニナツテハ困リマスカラ、其點ハ十分注意ヲシタイ、役員ノ點ハ寧ロ今マデノ規定デモ組合員外カラモ行政官廳ノ認可ヲ得レバ、適當ナ者ガアレバ詰リ認メタル制度ニナツテ居リマス、ソコデアリマスカラ絕對ニ資格ガナイトスル必要ハナイノデアリマス

タイト云フ意圖ガアルノデアリマス、若クハセメテ期間ヲ延長シテ貰ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマスガ、ソレハ橋本サンニ御答イタシマシタヤウニ取入レテ居リマセヌ、事柄ニ依ツテハ取入レテ居リマスコトモアリマス、取入レテ居リマセヌコトモアリマス……少シ補足シテ申上ゲテ置キマスガ、漁業權ニ付キマシテハ、今マデノ法律ノ構成ノ上デハ、施行規則デ或程度ハ動カシテ居ル點ガゴザイマスノデ、根本ニ付キマシテハ先程及只今御答イタシタヤウデゴザイマス

○政府委員(戸田保忠君) 只今御尋ノ四十三條ノ九ノ第二項ノ「四十三條第四項ノ規定ハ漁業者ニ非ザル組合員ニハ之ヲ適用セス」ト申シマスノハ、現行ノ法律ノ四十三條ノ第四項ノ「專用漁業權又ハ入漁權ノ範圍内ニ於テ各自漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス」ト云フ此規定デゴザイマス、是ハ漁業者ダケニ限リマシテ、漁業者以外ノ者ハ、例ヘバ米ノ共同購買ナドヲスルト云ウヤウナ場合ニ、此漁村ノ部落デ漁業者以外ノ者モ入レマシテ、米ノ共同購買ナドハ例ヘバ漁業ニ從事シテ居ラヌヤウナ者ニモ其組合ノ經濟施設ヲ及ボスコトガ宜イト云フヤウナ意

○橋本圭三郎君 今ノ點モチヨット、今ノ漁業者デナイ人ハ組合ノ役員ニハナレナイノデゴザイマセウネ、能ク勞働組合法ナント云フモノハ、是マデ民間ニ出來タモノハ勞働者デナイ者デモ組合ノ會長副會長ト云フヤウナ者ニナツテモ宜イヤウナ案ニナツテ居ル、我々甚ダ反對デアリマスガ、無論此組合ノ役員ナドニハ、今ノ漁業者デナイ人ハナレナイノデセウネ

○政府委員(戸田保忠君) マア大體左様デゴザイマス、組合員外カラ選ビマシタ場合ニハ、認可ヲ受ケルト云フコトニナツテ居リマス

廣汎ニ互テ居リマスカラ、其規定ノ改正デ

○政府委員(戸田保忠君) 役員ニハ是ハナ

○田村新吉君 只今ノ説明ニ依リマス、

組合員ニナルコトが出来、其組合員ニナリ得た者ハ、官廳ノ認可ヲ得ズシテ役員ニナルコトが出来ルト、斯ウ云フコトニ解シマスガ、サウ云フコトニナルノデゴザイマスカ

メマス、漁業組合令ト云フ勅令ガゴザイマシテ、只今デモ漁業法ノ中ノ漁業組合ニ關シマシテハ漁業組合令ト云フ勅令デ動イテ居リマス、議決權其他ノ規定ガシテゴザイマス、其漁業組合令ヲ此法律ノ改正ニ伴ヒマシテ何レ改正ヲ行フ必要ガ起リマス、其漁業組合令ト云フ勅令ノ今申上ゲマシタヤウナ規定ヲ作テ行キタイト考ヘテ居リマス

萬一サウ云フ場合ノ用意ハ勅令ノ議決權等ニ付テハ、其爲ニ多數決デ本ガナクナルト云フヤウナコトガナイヤウニ用意シタ規定ヲスル必要ガアルト云フコトヲ先程申上ゲテ居ル積リデアリマス

外ノ者ノ爲ニ多數決デ壓倒サレテ本ヲ無クスルコトガアッテハナラナイカラ、ソレガ出来ナイヤウナ規定ヲ設ケルト云フ風ニシタイト云フ考ヘ方デゴザイマス

○政府委員(戸田保忠君) 一應サウナリマス、唯併ナガラ實際ノ色ミノ議決ヲ致シマスル場合ニハ、議決權ノ行使ニ付テハ、普通共同組合デアリマスレバ總テ平等デアルノガ當然デアリマスケレドモ、漁業者ト漁業者以外ノ者トノ間ニハ漁業權ニ關スルモノニ付テハ區別シマス、漁業者ガ漁業者以外ノ人ガ入ッテ來テ、其方ノ勢力ノ爲メニ本來ノ漁業組合ノ基礎ヲ危クスルヤウナ議決ヲ防グコトガ、法律制度ノ上デハ出来ナイト云フコトデハ困リマスカラ、漁業組合令、今勅令デ色ミ管理其他議決權等ノコトガ規定ガゴザイマス、ソレノ改正ヲ何レ此法律ノ改正ニ伴ヒマシテ行ハナケレバナリマセヌガ、其際ニ議決權等ニ付テハ十分漁業者ノ權利ノ侵害サレルヤウナコトガ、漁業者以外ノ組合員ヲ入レル爲ニ起ラナイヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○田村新吉君 此四十三條ノ九ニアリマス此文面ニ依リマス、斯様ナ杞憂モ起リ得ルノデアリマスガ、漁業者デアッテ組合員デアルト云フコトハ當然デアリマス、漁業者デナクテ組合員タルコトが出来ル、其漁業者デ組合員タルノ數ト、漁業者デナクテ組合員タルノ數トガ、漁業者デナイ人ノ數ガ多クモナリ得ル譯デスカ

○政府委員(戸田保忠君) 詰リ規約ノ變更ニ付テノ場合ハ認可ヲ要スルコトニナッテ居リマスシ、ソレデ只今ノ初メ御尋ニナリマシタ四十三條ノ九ノ法律デハ第二項ニ依リマシテ漁業者以外ノ者ハ此組合ニ入りマシテモ漁業ヲナスノ權利ハ持タナイコトニナリマス、漁業者タケガ權利ヲ持ツ、是ハ法律デ今其點ガ防イデアリマス、サウシテ漁業權ノ處分トカ、或ハ入漁權ノ處分ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ組合令ニ規定イタシマス場合ニ、是ハ漁業權者タケノ決議デ足ルト云フ風ニスルコトモ一ツノ考ヘ方ダラウト思ヒマス、サウ云フ風ニ規程ノ仕方ハ色ミアルト思フガ、要スルニ漁業權ニ關スル部分ト、其他ノ部分トハ議決權ノ議決ノ仕方ヲ變ヘテ、詰リ漁業者ガ漁業者以外ノ者ノ爲ニ多數決デ壓倒サレテ本ヲ無クスルコトガアッテハナラナイカラ、ソレガ出来ナイヤウナ規定ヲ設ケルト云フ風ニシタイト云フ考ヘ方デゴザイマス

○政府委員(戸田保忠君) 此度ノ漁業組合ノ改正ハ漁村ニ於ケル漁業經濟ノ更生ト云フコトヲ、其更生ニ付キマシテノ中心機關トシタイト云フ考デアリマスルノデ、實際ニ於キマシテ、只今漁村ニ於テハ漁業組合ガ中心ニナッテヤッテ居ルノデアリマス、所ニ依リマシテハ産業組合ニ加入シ或ハ産業組合デヤッテ居ル所モゴザイマスガ、漁村ノ方デアリマス、産業組合タケデハ動カヌヤウナ實情ノ所モアリマス、ソコデ漁業組合ガ農村ニ於ケル産業組合ト同ジヤウニ、漁村ノ産業組合ノ實ヲ舉ゲシメルト云フヤウナ形ニシタイト云フ風ナ考ガ多分ニ入ッテ居ルノデアリマス、其際ニ於キマシテ此出資制度ニ致シマシテ、事業ノ範圍ガ共同購買、共同販賣ト云フ事業ニ迄及ビマス場

○政府委員(戸田保忠君) 勅令デソレヲ定

○政府委員(戸田保忠君) サウ云フ場合ガ考ヘ方トシテハ起リ得ルダラウト思ヒマス、起リ得マスガ、大體ノ漁村部落ノ狀況ト致シマシテハ、漁業組合ニ於キマシテ漁業組合ガ組合ノ規約ノ定ムル所ニ依ッテ加入セシメルノデアリマスカラ、ソレニ實際加入スル、加入セシメルノニ適シナイヤウナ時ニハ加入セシメナイト思ヒマスガ、抽象的ノ考ヘ方トシテハ起リ得ルコトニナルカラ

○政府委員(戸田保忠君) 詰リ規約ノ變更ニ付テノ場合ハ認可ヲ要スルコトニナッテ居リマスシ、ソレデ只今ノ初メ御尋ニナリマシタ四十三條ノ九ノ法律デハ第二項ニ依リマシテ漁業者以外ノ者ハ此組合ニ入りマシテモ漁業ヲナスノ權利ハ持タナイコトニナリマス、漁業者タケガ權利ヲ持ツ、是ハ法律デ今其點ガ防イデアリマス、サウシテ漁業權ノ處分トカ、或ハ入漁權ノ處分ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ組合令ニ規定イタシマス場合ニ、是ハ漁業權者タケノ決議デ足ルト云フ風ニスルコトモ一ツノ考ヘ方ダラウト思ヒマス、サウ云フ風ニ規程ノ仕方ハ色ミアルト思フガ、要スルニ漁業權ニ關スル部分ト、其他ノ部分トハ議決權ノ議決ノ仕方ヲ變ヘテ、詰リ漁業者ガ漁業者以外ノ者ノ爲ニ多數決デ壓倒サレテ本ヲ無クスルコトガアッテハナラナイカラ、ソレガ出来ナイヤウナ規定ヲ設ケルト云フ風ニシタイト云フ考ヘ方デゴザイマス

○政府委員(戸田保忠君) 此度ノ漁業組合ノ改正ハ漁村ニ於ケル漁業經濟ノ更生ト云フコトヲ、其更生ニ付キマシテノ中心機關トシタイト云フ考デアリマスルノデ、實際ニ於キマシテ、只今漁村ニ於テハ漁業組合ガ中心ニナッテヤッテ居ルノデアリマス、所ニ依リマシテハ産業組合ニ加入シ或ハ産業組合デヤッテ居ル所モゴザイマスガ、漁村ノ方デアリマス、産業組合タケデハ動カヌヤウナ實情ノ所モアリマス、ソコデ漁業組合ガ農村ニ於ケル産業組合ト同ジヤウニ、漁村ノ産業組合ノ實ヲ舉ゲシメルト云フヤウナ形ニシタイト云フ風ナ考ガ多分ニ入ッテ居ルノデアリマス、其際ニ於キマシテ此出資制度ニ致シマシテ、事業ノ範圍ガ共同購買、共同販賣ト云フ事業ニ迄及ビマス場

○政府委員(戸田保忠君) 勅令デソレヲ定

○政府委員(戸田保忠君) サウ云フ場合ガ考ヘ方トシテハ起リ得ルダラウト思ヒマス、起リ得マスガ、大體ノ漁村部落ノ狀況ト致シマシテハ、漁業組合ニ於キマシテ漁業組合ガ組合ノ規約ノ定ムル所ニ依ッテ加入セシメルノデアリマスカラ、ソレニ實際加入スル、加入セシメルノニ適シナイヤウナ時ニハ加入セシメナイト思ヒマスガ、抽象的ノ考ヘ方トシテハ起リ得ルコトニナルカラ

○政府委員(戸田保忠君) 詰リ規約ノ變更ニ付テノ場合ハ認可ヲ要スルコトニナッテ居リマスシ、ソレデ只今ノ初メ御尋ニナリマシタ四十三條ノ九ノ法律デハ第二項ニ依リマシテ漁業者以外ノ者ハ此組合ニ入りマシテモ漁業ヲナスノ權利ハ持タナイコトニナリマス、漁業者タケガ權利ヲ持ツ、是ハ法律デ今其點ガ防イデアリマス、サウシテ漁業權ノ處分トカ、或ハ入漁權ノ處分ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ組合令ニ規定イタシマス場合ニ、是ハ漁業權者タケノ決議デ足ルト云フ風ニスルコトモ一ツノ考ヘ方ダラウト思ヒマス、サウ云フ風ニ規程ノ仕方ハ色ミアルト思フガ、要スルニ漁業權ニ關スル部分ト、其他ノ部分トハ議決權ノ議決ノ仕方ヲ變ヘテ、詰リ漁業者ガ漁業者以外ノ者ノ爲ニ多數決デ壓倒サレテ本ヲ無クスルコトガアッテハナラナイカラ、ソレガ出来ナイヤウナ規定ヲ設ケルト云フ風ニシタイト云フ考ヘ方デゴザイマス

○政府委員(戸田保忠君) 此度ノ漁業組合ノ改正ハ漁村ニ於ケル漁業經濟ノ更生ト云フコトヲ、其更生ニ付キマシテノ中心機關トシタイト云フ考デアリマスルノデ、實際ニ於キマシテ、只今漁村ニ於テハ漁業組合ガ中心ニナッテヤッテ居ルノデアリマス、所ニ依リマシテハ産業組合ニ加入シ或ハ産業組合デヤッテ居ル所モゴザイマスガ、漁村ノ方デアリマス、産業組合タケデハ動カヌヤウナ實情ノ所モアリマス、ソコデ漁業組合ガ農村ニ於ケル産業組合ト同ジヤウニ、漁村ノ産業組合ノ實ヲ舉ゲシメルト云フヤウナ形ニシタイト云フ風ナ考ガ多分ニ入ッテ居ルノデアリマス、其際ニ於キマシテ此出資制度ニ致シマシテ、事業ノ範圍ガ共同購買、共同販賣ト云フ事業ニ迄及ビマス場

○政府委員(戸田保忠君) 勅令デソレヲ定

○政府委員(戸田保忠君) サウ云フ場合ガ考ヘ方トシテハ起リ得ルダラウト思ヒマス、起リ得マスガ、大體ノ漁村部落ノ狀況ト致シマシテハ、漁業組合ニ於キマシテ漁業組合ガ組合ノ規約ノ定ムル所ニ依ッテ加入セシメルノデアリマスカラ、ソレニ實際加入スル、加入セシメルノニ適シナイヤウナ時ニハ加入セシメナイト思ヒマスガ、抽象的ノ考ヘ方トシテハ起リ得ルコトニナルカラ

○政府委員(戸田保忠君) 詰リ規約ノ變更ニ付テノ場合ハ認可ヲ要スルコトニナッテ居リマスシ、ソレデ只今ノ初メ御尋ニナリマシタ四十三條ノ九ノ法律デハ第二項ニ依リマシテ漁業者以外ノ者ハ此組合ニ入りマシテモ漁業ヲナスノ權利ハ持タナイコトニナリマス、漁業者タケガ權利ヲ持ツ、是ハ法律デ今其點ガ防イデアリマス、サウシテ漁業權ノ處分トカ、或ハ入漁權ノ處分ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ組合令ニ規定イタシマス場合ニ、是ハ漁業權者タケノ決議デ足ルト云フ風ニスルコトモ一ツノ考ヘ方ダラウト思ヒマス、サウ云フ風ニ規程ノ仕方ハ色ミアルト思フガ、要スルニ漁業權ニ關スル部分ト、其他ノ部分トハ議決權ノ議決ノ仕方ヲ變ヘテ、詰リ漁業者ガ漁業者以外ノ者ノ爲ニ多數決デ壓倒サレテ本ヲ無クスルコトガアッテハナラナイカラ、ソレガ出来ナイヤウナ規定ヲ設ケルト云フ風ニシタイト云フ考ヘ方デゴザイマス

○政府委員(戸田保忠君) 此度ノ漁業組合ノ改正ハ漁村ニ於ケル漁業經濟ノ更生ト云フコトヲ、其更生ニ付キマシテノ中心機關トシタイト云フ考デアリマスルノデ、實際ニ於キマシテ、只今漁村ニ於テハ漁業組合ガ中心ニナッテヤッテ居ルノデアリマス、所ニ依リマシテハ産業組合ニ加入シ或ハ産業組合デヤッテ居ル所モゴザイマスガ、漁村ノ方デアリマス、産業組合タケデハ動カヌヤウナ實情ノ所モアリマス、ソコデ漁業組合ガ農村ニ於ケル産業組合ト同ジヤウニ、漁村ノ産業組合ノ實ヲ舉ゲシメルト云フヤウナ形ニシタイト云フ風ナ考ガ多分ニ入ッテ居ルノデアリマス、其際ニ於キマシテ此出資制度ニ致シマシテ、事業ノ範圍ガ共同購買、共同販賣ト云フ事業ニ迄及ビマス場

合ニハ、殊ニ共同購買ニ付テデアリマス
ガ、漁村部落ニ於キマシテ、大多數、普通
我メノ豫想シテ居ルコトデアリマスガ、大

多數漁民ノ部落デアアル、併ナガラ其中ニ漁

村若クハ漁民部落ノ學校ノ先生ガ居ルヤウ

ナ場合モアリマスシ、ソレヨリ先ヅ第一段

ト致シマシテ、今日ノ現行法デハ漁業者ダ

ケノ團體デアリマスカラ、漁業ノ従事者ハ

入ッテ居ラスノデアリマス、資格ガナイコト

ニナッテ居リマス、第一段ハ漁業ノ従業者ガ

漁業者ト、漁村部落ニ於テハ經濟的ニ同一

ニ取扱ッテ良イ場合モ多イノデアリマス、ソレ

デ漁業者ガ共同シテ米ヲ買フトカナントカ

云フヤウナコトノ際ニ、漁業従業者ノ米モ

一緒ニ買フト云フコトガ出來タ方ガ宜イノ

デアリマスカラ、同時ニ又其漁村部落ノ其

他ノ學校ノ校長サンナリ先生ナリノ居リマ

スヤウナ場合ニ、ソレダケハ除ケ者ダトシ

ナイデ、其漁村部落全體トシテ組合ニ加入

シテ、漁業組合デサウ云フ取扱ガ出來ルト

云フ方ガ信宜デアアル、サウ云フ風ニシタイ

ト云フ意味デ今度ノ改正ガ行ハレテ居ル部

分ガアルノデス、其爲ニ只今ノ漁業者ニ非

ザルモノモ組合員ト爲スコトヲ得ト云フ規

定ヲ設ケタノデアリマス

○田村新吉君

只今ノ御趣旨ニ依リマスル

ト漁業ニ關スル購買組合ト云フヤウナモノ
ノ便宜ヲ得ル爲ニ漁業者ニ非ザル者ヲ組合
員トスル、斯ウ云フ御趣旨ニナリマスカ

○政府委員(戸田保忠君)

大體サウ云フ風

ニナリマス、其漁村部落ニ於キマシテ或特

定ノ人ダケガ斯ウ云フ相互的ノ組合ノドレ

ニモ入レヌト云フヤウナ場合ガ起リマスノ

デ、一方山間部落ニアル一ツノ村ヲ總合イ

タシマシテ、山間部落ノ方デハ産業組合ガ

發達シテヤッテ居ル、漁村部落ノ方ハ漁業組

合ガ、或漁業組合ノ區域内ニ只今申上ゲタ

ヤウニ學校ノ先生トハ限リマセヌケレド

モ、第一ハ今ノ漁業ノ従業者、漁業ノ従業

者ハ漁業者ト色ミナ經濟的ノ利害關係ニ於

テ、或部分ニ付テハ利害反スル場合ガアリ

マスケレドモ、大體ニ於テ漁村部落トシテ

ハ利害ガ相一致シテ居ルモノト考ヘテ宜イ

ト思ヒマス、ソレカラソレトハ全然違ッテハ

來マスケレドモ、例ヘバ漁村部落ニ先程申

上ゲタ學校ノ先生ガ居ルトカ、或ハ役場ノ

書記ノ人ガ居ルトカ云フヤウナ場合ニ、ソ

レヲ除外シナイデ組合員ニシテモ宜イデヤ

ナイカト云フ考ヘ方デアリマス

○田村新吉君

マダナイデモアリマセヌ

○委員長(子爵松平直平君)

ソレデハ今日

ハ是デ延會ヲ致シマス、次回ハ二十日ニ開

會ヲ致スコトニ致シマス、今日ハ是デ散會

ヲ致シマス

午後零時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵松平 直平君

副委員長 男爵赤松 範一君

委員 公爵伊藤 博精君

子爵西大路吉光君

橋本圭三郎君

田村 新吉君

高島 順作君

政府委員

農林政務次官 伯爵有馬 賴寧君

農林省水產局長 戸田 保忠君

農林省經濟更生部長 小平 權一君

昭和八年三月二十二日印刷

昭和八年三月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局